

研究タイトル:

高齢者・障がい者の至適住宅環境について



氏名:	佐藤篤史 / SATO Atsushi	E-mail:	a-sato@oyama-ct.ac.jp
職名:	教授	学位:	博士(工学)
所属学会・協会:	日本建築学会、空気調和・衛生工学会、日本生気象学会		
キーワード:	住宅熱環境、熱・結露、暖冷房、空気調和		
技術相談 提供可能技術:	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅内のエネルギー使用と健康問題 ・暑熱時の労働環境調査(WBGT 指数) ・建築物内の環境調査(温湿度・浮遊粉塵・CO2 濃度・騒音・照度、換気量などの測定) 		

研究内容: 住宅内での健康維持と省エネルギー両立し、最適な室内環境を提案する

▷ 人間と建築環境の関わり

我々は人工的に造られた環境の中で生活しています。近年は設備技術の進歩により、快適な生活がおくれるようになりました。一方で化学物質や微生物の発生、地球環境・省エネルギー問題などの新たな課題も出てきています。

居住者側の視点に立ち、安全で健康な室内環境のあり方、環境負荷を与えない設備の使用方法を検討し社会にフィードバックすることを目標に研究活動をおこなっています。

具体的には障がい者・高齢者等の使用暖房器具と経済性・安全性・温湿度(乾燥、結露)の総合評価、あるいは障がい者・高齢者の身体特性と設備の関連などです。

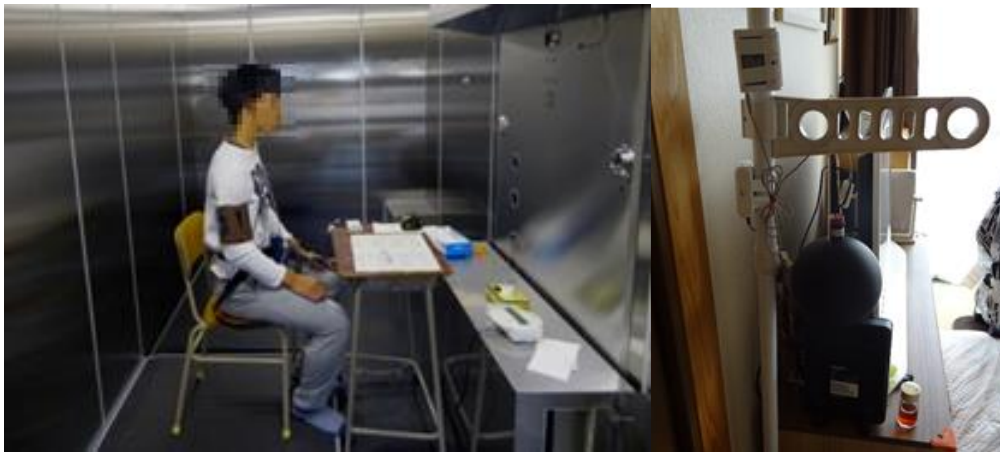


写真 測定の様子(恒温恒湿室・住宅実測)

researchmap: <https://researchmap.jp/read0022819>

研究紀要: https://www.oyama-ct.ac.jp/tosyo/researcher/404_sato_atsushi.html

提供可能な設備・機器:

名称・型番(メーカー)	
恒温恒湿室 TBR-3E20A6P2J(エスペック)	温湿度ロガーRS-14(エスペックミック)
アメニティメーター[PMV計]AM-101(京都電子)	騒音計 NL-27(リオン)
ハンディサーモグラフィ GDA-B03(チノー)	ホルムアルデヒド検知器 FP-30(理研機器)
パーティクルカウンター[粉じん計]KC-01(リオン)	アスマン通風乾湿計(柴田科学)
CO,CO2 モニタ MODEL-2211(KANOMAX)	その他 皮膚温センサー、照度計など環境測定機器多数